

千葉県における高病原性鳥インフルエンザの発生に係る要望書

令和3年3月2日

自由民主党 千葉県議会議員会畜産振興議員連盟
会長 實川 隆 様

一般社団法人千葉県農業協会
養鶏部会長 宮澤 哲雄

1 殺処分鶏及び汚染物品の早急な処分について

匝瑳市の発生において予定していた埋却地の地下水位が高く、埋却できずにいる。殺処分鶏の腐敗が進み、悪臭や衛生害虫等の発生が懸念される。早急な処分に配慮していただきたい。

2 県による繋ぎ資金の緊急貸付制度の創設

発生農場や制限区域内等の農場に対する多くの資金的支援措置や補償措置はあるが、いずれも交付されるまでに多くの時間を要することが予想される。

中規模の農場でさえ、11～12名の正社員を抱えており、給料の支払い等が喫緊の課題となっていることから、スピード感を持った補償金の交付や貸付け等が強く望まれるとともに、県により、貸し付けが実行されるまでの繋ぎ融資制度の創設を願いたい。

3 経営継続支援金の給付制度（香川県の事例を参考とした）

発生に伴い、経済的に影響を受けた養鶏業者及び取引業者等の経営継続の支援を願う。

(1) 支給対象 県内事業者（経営継続する者に限る）

ア 養鶏業者

イ 移動制限区域（発生農場を含む）の養鶏業者と直接取引があった関係事業者

(2) 支給要件

令和2年12月から令和3年3月までの売り上げが前年同期の売り上げと比較して50%以上減少

(3) 給付額

ア 養鶏業者×, ×××千円（ただし、前年同期の売り上げからの減少額が上限）

イ 取引業者×××千円（同上）

1,000千円（香川県）

500千円（香川県）

4 雇用維持助成金支給事業（香川県の事例を参考）

鳥インフルエンザの発生により経済的に影響を受け、事業活動の縮小を余儀なくされた場合において、一時的な休業により労働者の雇用の維持を図ろうとする事業主に対し、休業手当等の一部助成を願う

(1) 助成対象

鳥インフルエンザの発生に伴い、国の「雇用調整助成金」の支給決定を受けた県内事業所の中小企業事業主のうち次の者

ア 養鶏業者

イ 制限区域内の養鶏業者と養鶏業に係る直接の取引実績等があった食鳥処理事業者等の関係事業者

(2) 国助成金の支給決定を受けた額の3分の1の額（1事業所あたり上限●●万円）

100万円（香川県）

5 その他

農林水産副大臣 宮内秀樹 様、自由民主党幹事長 二階俊博 様、
自由民主党幹事長代理 林 幹雄 様への要望書

高病原性鳥インフルエンザ発生時における防疫措置の見直し 及び地元生産者の支援に関する要望書

高病原性鳥インフルエンザが令和2年1月5日の香川県を皮切りに、17県50事例（2月15日時点）の発生が見られている。そうした中、千葉県においても、12月24日から立て続けに11農場での発生があった。中でも、衛生的に充実していると言われていた大規模で最新の養鶏場での発生に、県内生産者は戸惑いとともに戦々恐々としているところである。

発生した農場には鶏舎に小さな穴があるなどの何らかの不備があったのかもしれないが、本疾病の全国的な蔓延の原因は渡り鳥等野鳥であると推測される中、今季の発生は台風などと同様に天災と考えるのが妥当である。

つきましては、国民に低価格で良質なタンパク質を供給する産業に従事する者として、産業育成とその推進の観点から飼養衛生管理基準の運用と指導をお願いするとともに次の点について要望する。

記

1 発生農場および関連会社における従業員の雇用維持について

飼養再開までの間において農場従業員および運送などの関連会社の雇用維持を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金の特例措置のような助成制度の創設を願う。

2 移動制限及び搬出制限区域内の農場における家きん卵のGPセンターへの出荷について

10万羽の飼養を想定すると、1日当たり6トン前後の鶏卵が生産されている。通常の搬出用トレイでの貯蔵にも数的限界があり、廃棄するにも場所の確保が難しい（たい肥舎等鶏糞処理施設の受入れ量にも限界がある）。防疫指針においては、条件を満たせば県と動物衛生課との協議によりGPセンターに出荷することができるとされているが、条件確認後の協議及び決定の1日も早い対応をお願いしたい。

また、国と県の協議については、口頭や電子メール等の対応で迅速に行ってほしい。

3 大規模養鶏場における発生時の防疫措置について

不眠不休で対応されている県職員、自衛隊員、国職員には感謝の意を表す。

しかしながら、5万羽も100万羽も同じ行政の体制の中で処理するには相当に無理があると思われる。

また、処分鶏の滅菌処理のために埋却して土に還せばよかった小規模な時代と異なり、現在は、周辺住民の環境意識も高く、自己所有地といえどもなかなか許されなくなってきている。廃棄物としての観点から合理的で安全な手法の早期開発を望むものである。

4 鶏病研究の充実について

今回の鳥インフルエンザの発生の仕方は、これまでと様子が大きく違ってきており、ウイルスの変異などが起こっていることも予想される。感染力や感染経路など鳥インフルエンザウイルスの性質や変異の傾向などを正確に知り、効果のある対策を講じていけるよう研究費を予算化していただきたい。

令和3年2月17日

農林水産副大臣 宮内 秀樹 様
自由民主党幹事長 二階 俊博 様
自由民主党幹事長代理 林 幹雄 様

一般社団法人千葉県農業協会
養鶏部会長 宮澤 哲雄

